

第8回養老町子ども議会

令和6年11月26日(火) 午後4時より
養老町役場 4階議事堂で開催

教育委員会主催で始まった「こども議会」も今回で8回目となった。養老町議会と同じような緊張感と臨場感を子どもにも体験してもらいたいと教育委員会より依頼され、第1回目から養老町議会議事堂を使用し開催されている。



高田・東部両中学校の3年1名ずつが議長となり、また、各クラスの代表16名が議員になり、養老町の将来について自分たちの考えを提案発表した。



生徒は夏休みなどを利用して、調査・研究してきた。中学校2年生の生徒及び保護者及び議員は、4階大会議室でライブ映像により傍聴した。



中学生は各クラスで話し合いを重ね、分析・調査をしたり、ポランティア活動に参加しながら、まとめたい意見や提案を堂々と発表した。それに対し、町の担当課より現在取り組んでいることを踏まえ、感想を述べた。



中学生の主な意見・提案

多くの関係人口を有するために、ポスターを作成しSNSでPR



・養老町の魅力を発信、モデルプランを提案
・中学生にできるSDGs活動への参加
・今ある公園や校庭を整備。廃材などを再利用し理想の公園を。



・住民アンケートにより要望があった公園を提案。中学生も地域の一員として関わる。
・災害時の自助・公助・共助について考える。
・町内道路の危険箇所を指摘し、整備を依頼。
・クラスで作成した交通危険マップを、通学路選定やカーブミラー設置に役立てて。

中学生の感想

・養老町の新たな良さに気づくことができたと同時に今ある課題について考えることができた。



・声を届けることの大切さと、届いた時の達成感を味わうことができた。
・子ども議会で感じたことを学んだことをこれからの人生に生かしていくことが大切だ。

・たくさんの方の制約がある中で、町長・議長はじめ職員が町民のために努力していることを知った。
・地域の活動に積極的に参加し、養老町のことをもっと知る必要があると思った。
・私は養老町が好きです。だから町外の人にもっと養老町の魅力を知ってほしい。
・身近な所から貢献していきたい。

・あと3年で選挙権を得て政治に参加する。未来のことを思いながら自分の道を進もう。
(教育委員会に届いた感想一部抜粋)

子ども議会参加者インタビュー

高田中学校 代表
3年1組発表表

「循環型で持続可能な町を目指して」
中学生にできるSDGs活動への参加」
(12月3日取材) (敬称略)



高田中学校 久保山 季咲

Q この提案にした理由は？

久保山：クラスで何にしよるか話し合ったとき、広報を見て、牧田川クリーン大作戦に参加しようと思ったのが始まりです。

古川：県外ではどういふSDGsの活動をしているのかも調べました。養老町のSDGs活動を調べ、牧田川クリーン大作戦に参加しました。たくさん種類のゴミがあり、ゴミを少しでも減らしたいと思い、養老公園盆踊り大会にも参加しました。



高田中学校 古川 昊空

養老公園盆踊り大会では、落ちていたゴミがなくて探るのが大変でした。

Q 議長席に座った感想は？

樋口：議長席はいいなー。高いなー。一番最初に思ったのは椅子が座りづらいな。



高田中学校 樋口 琉心

Q 議長として心がけたことは？

樋口：大事な場なので、失敗しないように、かまわないように意識しました。

Q また議長席に座りたいと思う？

樋口：いや、ちょっとほしい。

Q 子ども議会が終わったから何か変化はありましたか？

久保山：私たちにできることは何かと思って、給食の残量をなるべくなくすため、給食配膳の仕方を工夫してみました。友達ともカイロを使い捨てるものから、繰り返し使えるものもあるよね、と話しています。

古川：東部中の提案にあった、お肉巡りや公園の話を聞いて、新しい発見がありました。養老町の魅力がより深まった気がします。

東部中学校 代表
3年2組発表表

「養老町の魅力を発信し、多くの人に来てもらえるまちづくり」
(12月11日取材) (敬称略)



東部中学校 伊藤 覚人

Q このテーマに決めた理由は？

伊藤：養老の魅力をクラスで話し合い、養老の滝と焼き肉街道をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと提案しました。

Q 中学生の皆さんから見て、こういうお店があるといいなと思う所は？

松永：食べ歩きで楽しめる通りがあると嬉しい。

Q 議長席に座った感じはどうでしたか？

古川：去年は傍聴席で聞いていました。議長席に座ると思っていたよりも緊張してしまいました。全体が見渡せて、ちゃんと仕切らないといけないという責任を感じました。一生に一度座れるか座れないかなので、とても緊張しました。



東部中学校 古川 敦哉

Q 議員席はどうでしたか？

伊藤：緊張しました。

松永：椅子がフカフカで、初めての感覚でした。町長さんや課長さんが、みんなこつちを見ていたので、とても緊張しました。



東部中学校 松永 絵子

Q 5つのモデルプランは、クラスみんなで考えたの？

松永：プランは班ごとに担当して、班のみんなが気合を入れてスライドを作ってくれた。私の班は家族向けプランを担当したので、小さいときどこへ行ったか聞きながら、家族の意見も取り入れました。

Q 提案の後、執行から既にやっていますというのを聞いたときはどう思った？

伊藤：僕の班は。カップルプランだったので、家族に聞いて協力してもらいました。

松永：正直全然知らなくて、それが広まっていないと意味がなく、だからこそ発信していかなければいけないと思いました。

Q 聞いてもらうために工夫したことは？

松永：5つのプランを紹介しましたが、4つ目から気を引くために音楽をつけるようにしました。

Q 議長が工夫したことは？

古川：はっきり聞き取りやすいように、大きな声で話すことを意識しました。